

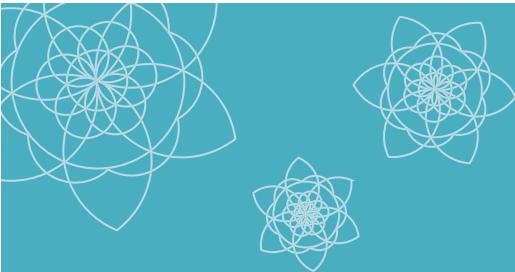
Living the Lotus



1
2022

VOL. 196

Buddhism in Everyday Life



開祖隨感

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus
2022年1月号 (Vol. 196)

【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp
編集責任者: 赤川恵一
編集チーフ: ジグジドホロル・ガレルトヤー
校閲者: 小坂和正、菊池克之
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ



生かされている自覚

みなさま、明けましておめでとうございます。

いよいよ1997年、平成9年の幕が開きました。『經典』を開きますと、「無上甚深微妙の法は百千万劫にも遭遇たてまつこと難し。我今見聞し受持することを得たり」とあります。

人は二度誕生すると言います。一度目の誕生は、言うまでもなく両親から命をいただいて、この世に生まれてきたときです。そして、ご法に遇い得て、大いなるいのちに生かされ、自ら志願してこの世に生まれてきた自分であることに目覚める。これが第二の誕生です。

この誕生で、人は永遠のいのちを得るのです。それがどれほどありがたいことか、年頭にあたって、もういちど心に刻み直したいものです。

生かされて生きる私たちは、第二の誕生を得た大恩に報いることを忘れてはなりません。その報恩行は「人さまのため」に徹することです。その生き方が身についてくると、毎日が楽しくてたまらなくなってくるのです。いつのまにか不平不満がなくなって、どんな問題にぶつかっても、「よし、私が」と奮い立たずにいられなくなるのです。

(『開祖隨感』11, P. 8-9)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



時代のキーワードは 「利他」——布施①

立正佼成会会长 庭野日鑛

仏教の肝心かなめ

新年、明けましておめでとうございます。

いまも不安の消えない新型コロナウイルスによる災禍のなかで、私たちは多くのことを学んできたのではないでしょか。本年は、その学びを智慧と慈悲のはたらきに換えて、心休まる家庭とあたたかな地域社会をつくる菩薩として、急がず休まず、精進を重ねてまいりましょう。

ところで、仏の教えを学ぶ私たちにとって、もっとも大切な教え、精進とはなんでしょうか。

伝教大師は「いやなことは自分で引き受け、よいことは他人に与え、自分のことは忘れて他の人を利益することが究極の慈悲である」といわれ、そのような道心をもった菩薩こそ国の宝であると諭されています。「忘己利他」、すなわち人を思いやり、自分にできることで安心や喜びを与える布施行が、仏道におけるもっとも大切な教えだということです。「釈尊の教えは広大無辺だが、ひとことでそれを表現すれば自利と利他に尽きる」といわれたのは弘法大師です。六波羅蜜の布施(利他)と、「この身このままで佛になること」(自利)が仏教の肝心かなめといふ諭しです。

考えてみれば、釈尊が出家されたのも、その動機は「ただ一切衆生が正しい路に迷い、生死輪廻に苦しんでいるのを見て、これを救済するため」(『新釈尊伝』／渡辺照宏)といわれます。一国の太子としての地位も財産もなげうたれ、その身をすべての人を救う智慧(悟り)を求めるに捧げられた釈尊の利他のお心、その布施の実践があ

ればこそ、仏道があるのです。菩薩の実践徳目とされる六波羅蜜の最初に布施があるのも、釈尊の出家のいきさつと無縁ではないと思います。

そのような意味も含め、さまざまな価値観の転換期にあたるいま、布施、そして六波羅蜜の教えから私たちは何を受けとめることが大切なのかを考えてみましょう。

「貪らない」という利他行

閉塞的^{へいそくつき}な社会状況がつづき、人と人との身心^{しんしん}の距離が遠のく傾向とはうらはらに、近年、信仰のあるなしを問わず、人さまのために利害^{りがい}を超えて尽くす「利他」の実践が注目を集めています。ボランティア活動をはじめ、地域のお店や企業を助ける応援消費や、見返りを求めないクラウドファンディングなど、人のために自分の持っているものを使うことに喜びや達成感や生きがいを覚える人がふえているのは、それだけ人の心が広く、豊かになってきたということで、ほんとうにすばらしいと思います。

よく「コロナ禍^か」といわれますが、感染症の蔓延^{まんえん}が人びとの助けあう心を磨いたとすれば、コロナウイルスという因から生じた結果^かという意味で「コロナ禍」とも表現できる、前向きな側面もあるととらえることができます。

佛教で布施^{ざいせ}というと、財施・法施・身施あるいは無畏施^{むいせ}(畏れをとり除く)と教えられていますが、こうしてみると社会貢献や支援や奉仕とも言い換えられる、だれにも親しみやすい布施や利他のあり方が見つかりそうです。

また、道元禅師は「布施は不貪^{ふとん}なり」といわれます。貪らなければ、その分が他の人のもとに届くので、おのずと布施をすることになるというのです。持続可能な環境^{じそくかのう}や社会を考えるうえでも、一人ひとりの「貪らない」という利他の実践は、より今日的^{こんにち}で示唆^{しあげいく}に富む教えといえます。

一方で、人と人との交流が減ると、目の前に困っている人がいればこそ動きだす慈悲の心も發揮^{はつき}されにくくなる、という見方もできます。ですから、他者を慈しむことがいっそう大切になるのですが、そうした心の布施とともに、欲への執着と財施の関係などについても、お互いさま、あらためて見つめ直してみたいと思います。

(『校成』2022年1月号)

Spiritual Journey

家庭、サンガ、世界の幸せを祈つて

小金井教会
木下 依里子

この体験説法は、2021年11月15日、大聖堂で行なわれた開祖さま生誕会式典で発表されたものです。

開祖さま生誕会の佳き日にお説法のお役を頂戴し
誠にありがとうございます。

私は昭和五十三年、信仰心篤い両祖母と両親のもと、中井家の四人兄弟の長女として産んでいただき、府中教会の歴代の教会长さんと温かいサンガの中で育てていただきました。特に鼓笛責任者として毎年多くの隊員と普門館を目指す中で、この子たちと一緒に青年部活動をしていきたいと思えたことが、私自身の信仰の始まりでした。平成二十六年、小金井教会で活動していた主人との結婚のお手配をいただき、同時に婦人部長のお役を拝命しました。当時の廣瀬教会长さんは何も分らない私と一緒に手どりにも歩いてくださいました。お陰様で、今では頼りになる婦人部さん方に囲まれております。

現在の我が家は、寛容な主人と、小一、年少の娘二人と、明るく賑やかな毎日を頂いております。昨年他界した木下の父は、長女をとても可愛がってください、當時一歳にもならない孫に「将来は隣に家を建てて近くで暮らそう」と口癖のように言っていました。一昨年の暮、方位の良い時期に間に合うように、父の言葉どおり、父母の家の隣に新居建築の準備を進め、無事に契約を終えることができました。しかし、その後に新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、我が家にも激震が走りました。入院していた父の病院でクラスターが起き、父も新型コロナウイルスに感染してしまったのです。昨年の四月のことです。まだまだ未知のウイルスで、治療法も手探りの状況でした。もともと、父は肺がとても

弱っていましたので、コロナ感染の知らせは死の宣告を受けたようなショックでした。「自分で動き回ることの出来ないお父さんがどうして感染しちゃうの！」と悔しい気持ちでいっぱいでした。病院や保健所からの連絡はすべて主人が対応することになりました。仕事中や深夜にも連絡が入り、主人は携帯が鳴る度に心拍数が上がると言っていました。

私は、父の病気平癒に併せ主人を支えられる自分になりたいと、毎日一心に三部経を読誦させていただきました。しかしそう念じながらも、私自身が実の父を見送った経験と比べて、主人の両親への応対が薄情なものに思えてしまい、主人を責めてしまったのです。そんな自分の愚かさが悔まれ、すぐに丹治教長さんに聞いていただくと「真剣に懺悔経を読誦して、わがままな心をお詫びさせてもらひなさい。即実践ですよ！」とご指導くださいました。その日の内に実践させていただきました。主人からは「あの時は、誰も味方がいなくなったり



大聖堂で説法する木下さん

うに感じたよ」と言われ、すぐに自分の価値観を押し付けてしまう我が身の至らなさを痛感しました。それ以来、いつでも主人の味方でいられる私になることが新たな目標となりました。

同時期に、青年部ではコロナによる緊急事態宣言のもと、どのように部員さんと繋がれるか、今私たちに何が出来るのかを話し合いました。模索した結果、初めての自粛期間中、それぞれが工夫したことや「即是道場」の実践の報告などを教会の皆さんから集め、映像にすることになりました。私は、実践の功德を少しでも父に回向したいと、当時四歳の長女と真剣に取り組みました。父が入院している病院に感謝のお手紙を書かせていただき、ゴミ袋には収集をしてくださる方々への感謝のメッセージを、またアパートの玄関には宅配業者の皆さんへのお礼のお手紙を貼らせていただきました。五月に入り私の三部経読誦が三週間を過ぎた頃、父の病院から「二度目のPCR検査で陰性になりました。面会も出来ます」と連絡をいただき、本当に、本当に嬉しくて主人と泣いて喜びました。しかし喜びも束の間、再び連絡があり「心臓の機能が低下しているので、至急来てください」と言われ急いで駆けつけましたが、すでに心不全で息を引き取った後でした。一か月近く人工呼吸器をつけていた影響で、心臓がもたなかつたそうです。本当に無念でなりませんでしたが、それでもコロナが陽性のままだったら、一目も会えずに荼毘に付されてしまうところでした。コロナに打ち勝ってくれたお陰様で、母や息子たちが父に会うことが出来たことを思うと、父の家族への強い愛を感じずにはいられませんでした。

葬儀は保健所の判断であらかじめ火葬をすませ、お骨葬となりました。教會長さんから「お父さんへの最

後のラブレターだと思って引導文を書かせもらったら？」という大きなお慈悲をいただき、感謝で書かせていただきました。あまり多くを語らない口下手な父でしたが、蘇るすべての言葉に、どんな事も受け止め引き受けてくれた寛容な父の愛情を感じました。葬儀の前に「大好きなお父さんへ」という書き出しの引導文を、お骨になった父の前でご供養と共に上げさせていただくことが出来ました。義母も一緒に座って涙を流して聞いてくださいました。嫁に迎えていただいて七年、短い間でしたが本当の娘のように沢山の愛情をいただきました。木下家にお嫁に来ることが出来て本当に幸せです。これからは私たちがお母さんを支え親孝行をさせていただき、温かい家庭を築いてまいります。

父の葬儀を終え、お墓の手配も整った九月、今度は木下の母に癌が見つかり、抗癌剤治療と手術をすることになりました。新居への引っ越しが間近に迫っていたこの時期に次々と続く出来事に、とてもショックで心が折れそうでした。私に出来る事は精一杯させていただきましたが、つらそうな母の毎日を思うと、「もう少し引っ越しをしてもお母さんに万が一のことがあったら…」などと、私は悪い方向にしか考えられなくなっていました。「なぜこんなに続けて…なぜ今なの！」と仏さまが見えなくなってしまいました。法座で「なぜ今なのか」と訴える私に、教會長さんは「今でよかったのよ！ 今だから最高の親孝行なのよ。もうすぐ息子たちが傍に来てくれると思えることが、今のお母さんには本当に心強くて、それが生きる希望になっているのよ」と教えてくださったのです。私は涙が溢れ、同時に胸のつかえが取れていくのを感じました。やはり私たちはどんな時も仏さまの世界に生かされているのだと心が前向きになりました。お陰

Spiritual Journey

様で、母はつらい治療を乗り越え、今では「せっかく永らえさせてもらった命、これからは孫孝行させてね」と言ってくださいり、散歩の途中に我が家に寄り、子供たちに温かい言葉を掛けてくださっています。

コロナ禍の中での父の死、入学・入園を控えた引っ越し直前の母の病と、我が家にとって本当に大きな出来事が続いた一年半でした。悲しくつらい現象の中にも必ず有り難い心の光を見出せる開祖さまのみ教えがなかったら、乗り越えられなかっただと思います。み教えをいただいて生きていけることの有り難さを深く噛みしめることができます。この教えに繋げてくださった両祖母、両親、そして近くで寄り添い続けてくださった小金井教会の皆さんへの感謝の思いでいっぱいです。

今年度、婦人部では二つの実践をさせていただいております。一つは法座です。昨年すべてが止まってしまった時には、この中で何が出来るのか戸惑い悩みました。信者さんとのSNSを使ったやり取りは勿論、お手紙を書いたり、クリスマスカードを作って郵送したり、皆さんの不安を少しでも軽減したいと思い様々なことを実践してみました。その中から、世の中の変化に対応していくと、母親として懸命に努力している婦人部の皆さん姿が見えてきたのです。それを感じた時、この婦人部ならきっとZOOM法座にもチャレンジ出来ると思い、教会長さんにお願いをさせていただきました。法座は、自分だけでは見えていなかった「有り難い」を教えていただける場です。そこには、話しながら涙する部員さんのお顔が笑顔に変わっていく様子や、その話を聞きながら共に涙を流す仲間の姿があります。直接背中をさすりティッシュを差し出すことは出来ませんが、それでも仲間として繋がっていることを実感出来るのです。法座のご縁から、朝夕に部員さんの幸せを信じると、驚くような仏さまの計

らいを頂くことも出来ました。私たちは信じる世界でも繋がっていけるのだと心から思えた瞬間でした。

もう一つの実践は「まめカフェの祈り」です。これは婦人部が平成三十年より続けてきた子供食堂「まめカフェ」が、コロナの影響で出来なくなったことから生まれました。毎月四十名を超える地域の方々が来ててくれていましたので、今こそお役に立ちたいのに何も出来ない悔しさを、副部長さんをはじめ婦人部の皆さんに聞いていただき、何か出来ることはないか相談しました。すると、話し合いの中で「子供たちのためにご供養しましょう！祈りましょう！」という言葉が出て來たのです。婦人部さんが各家庭のご宝前で誰かのために祈りを捧げる姿を想像した時、この祈りの輪を広げていけたら、「まめカフェ」再開の願いはきっと仏さまに届くはず！と思いました。早速、いつも世界に向けて祈りを発信してくださっている光祥さまのように、祈りが通じる世界を信じられる婦人部になりたいと、副部長の皆さんと懸命に一つ一つの言葉を紡ぎ、祈りの言葉を作させていただきました。すると、貧困や孤食に苦しむ子供たちだけでなく、すべての子供たちの幸せを祈る言葉となつたのです。道場を開放し、見返りを求めず食事を提供する子供食堂「まめカフェ」もとても尊いことですが、目には見えないすべての子供たちの幸せを心から祈れる私たちは、人として、信仰者として、とても大きな階段を上らせていただいているのだと思います。今年の夏には教会駐車場で、食料支援という形で「まめカフェ」の再開を計画していましたが、感染再拡大のため、みんなで話し合いを重ねた結果、延期を決断しました。でも、私たちは諦めません。いつか「まめカフェ」が再開出来るその日まで、真剣に祈らせていただきます。

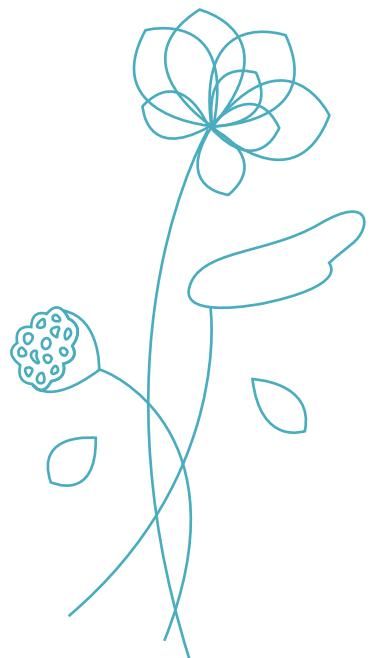
小金井教会の道場は、玄関を入ると目の前に大き

Spiritual Journey

な開祖さまのお写真があります。子供食堂に来る子供たちは「このお爺ちゃん誰？」と聞いてくれます。「この立正佼成会を作ってくださったお爺ちゃんなのよ」「へえ、そうなんだ」こんなやり取りを何回もさせていただきました。開祖さまが作ってくださった教会道場が垣根を超えて地域の人々に親しまれ、菩薩を育てる苗代になってくれていると思うと嬉しくてなりません。会長先生は、年頭法話で「父は子どもの尊敬の的でありたい。母は子どもの慈愛の座でありたい」とご指導くださいました。私もそんな母親になりたいと思います。子供にとって苗代となれる家庭作りを、婦人部の皆さんと共に目指してまいります。そして、一人でも多くの人に教えをお伝えできる私になることを決定させていただきます。



ご家族の皆さん(平成30年撮影)



まんが 立正佼成会入門

開祖さまの生涯と立正佼成会の歴史

所依の経典は法華三部経

立正佼成会が所依の經典としているのが法華三部經(無量義經、妙法蓮華經=法華經、仏說觀普賢菩薩行法經)です。その中の一つ、法華經は「諸經の王」といわれ、お釈迦さまがもっとも説きたかったことが書かれているお經です。

佛教のお經には「生き方の真理」が説かれていますが、なかでも法華經のすばらしい点はいろいろなたとえ話によって、その真理を目指した具体的な実践方法が示されているところです。開祖さまはこうした教えを法話や著書で、私たちにわかりやすく説き示しました。



豆知識

法華經は正式には「妙法蓮華經」という。この經名を立正佼成会では「人間がこの世に生活しながら、迷いにとらわれずに生きる道を説いた、尊い教え」と解釈する。また、所依とはよりどころを意味する。

※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。

『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。
<https://www.koseishop.com/>

脇祖さまとの二人三脚



三十人たらずではじまった立正佼成会でしたが、一人でも多くの人を救うために、開祖さまと脇祖さまは毎日のように二人で導きや手どりを行ないました。

ある冬のこと。開祖さまは、自転車の荷台に脇祖さまを乗せて導きにまわりました。時間も寒さもわすれ、二十軒以上の家をたずねると、脇祖さまの足はすっかり冷えきり、血の気もなくなって、自転車から降りてもすぐに歩くことができなかつたといいます。

開祖さまは脇祖さまを「かけがえのない人」と語っています。

豆知識

当時の会費は一ヶ月二十銭、経典が五十銭、お数珠が一円三十銭。うどん一杯八十銭という時代だ。入会する人は、難病に苦しむ人や家族の問題などで悩んでいる人が多かつた。

Director's Column

コロナ感染症が育んだ利他心

国際伝道部長

赤川惠一

新年、明けましておめでとうございます。私の担当するこのコラムも二年目に入りました。先ずは、お読みいただいておりますことに感謝を申し上げます。昨年度の経験をもとに、一人でも多くの読者の皆さんに喜んで読んでいただけますよう努めてまいります。

会長先生は、昨年まで三年に渡り、法華三部経の各品に沿って解説を含めたご法話をお分けくださいましたが、新年は六波羅蜜の第一番目の徳目であります「布施」に関するご法話から始まります。今後は根本仏教の教えが期待できそうな予感が致します。

さて、「時代のキーワードは『利他』」と布施行の意義をお示しください、三年目に入るコロナ禍について、「感染症の蔓延が人びとの助け合う心を磨いた」面があるとすれば、「コロナ果」と肯定的に表現することもできるとお話ししております。皆さまの周辺ではどのような「お蔭さま」が生まれていることでしょうか？

仏教は「見方道」とよく言い換えられますが、自分も人をも活かす受け取り方や見方を、今年も一層身に付けて浣瀬とした毎日をお互いさまに過ごせたら素敵なことですね。



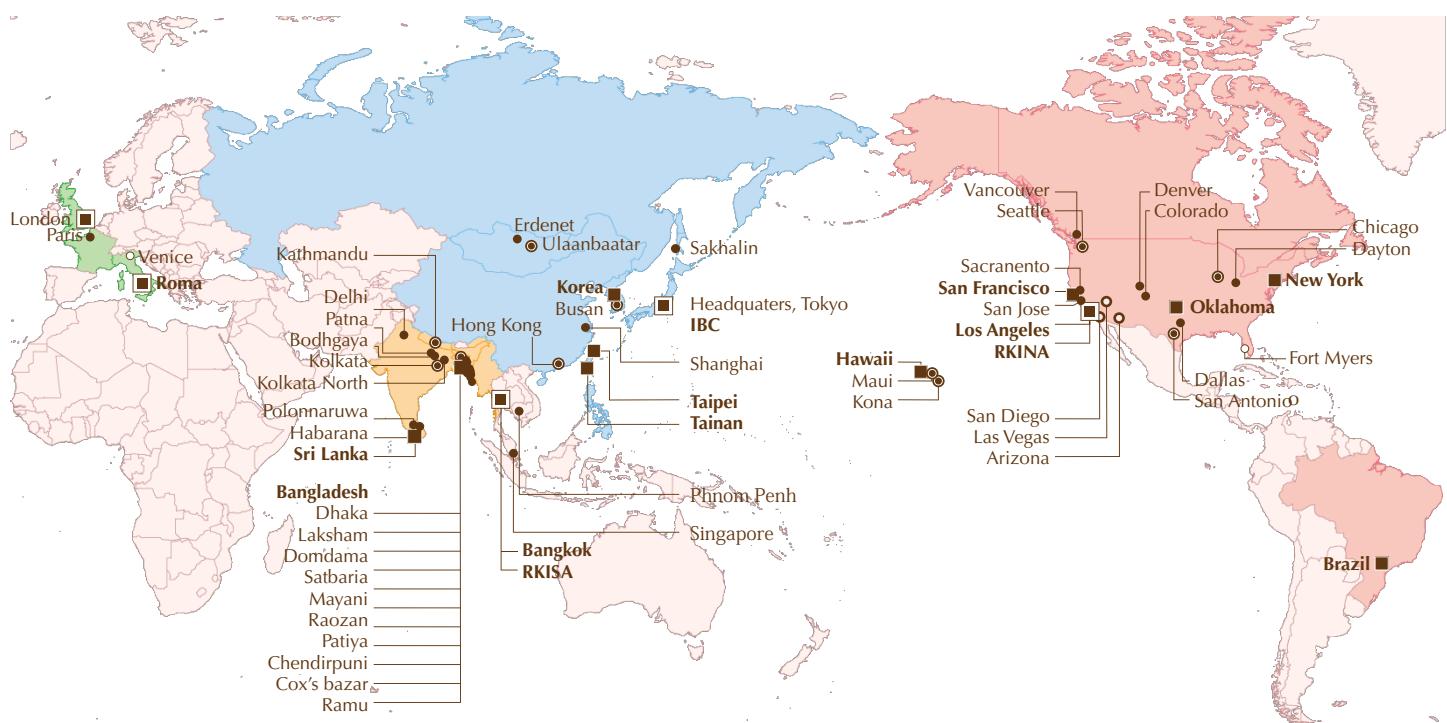
Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp



Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com
 URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento
Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809, Denver, CO 80204, USA
 TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
 Email: info@rkina.org
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasanantonio@gmail.com
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部 Korean Rissho Kosei-kai of Busan
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koscikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai Society of Kolkata
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL: 880-2-41360470

Rissho Kosei-kai Mayani
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka North
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

Rissho Kosei-kai Ramu

Rissho Kosei-kai Aburkhil

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruziinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org
Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org